

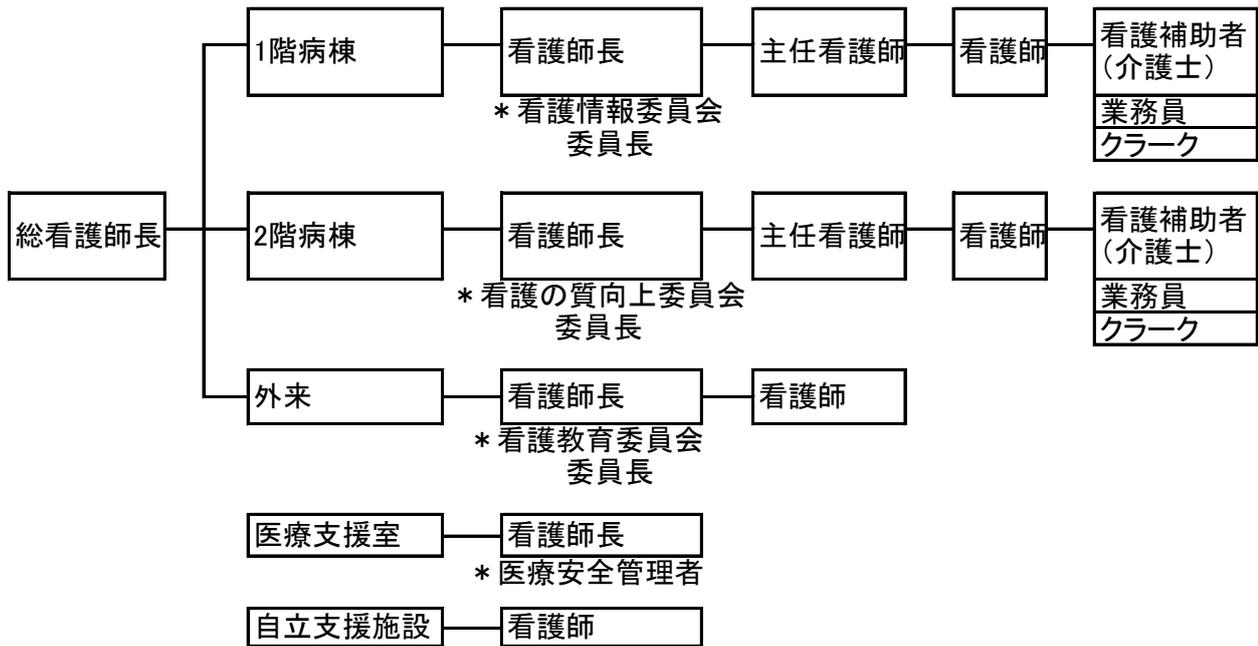
広島市立リハビリテーション病院

目次

1. 看護科組織図	62
2. 病院理念・看護科理念、基本方針	63
3. 看護科 BSC	64
4. 看護科教育	
1) 看護師・介護士教育	65
2) 新人教育	70
3) 資格（看護協会、学会認定等）	73
4) 院内資格	74
5. 看護活動	
1) 認定看護師活動	75
2) 学会	77
3) 誌上発表	77
4) 社会貢献	77
5) 講師	78
6. 臨地実習受入校	79

広島市立リハビリテーション病院看護科組織図

2024/4/1



2. 理念

病院理念

私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活ができるよう良質で信頼される総合的なリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します。

看護科理念

私たちは、利用者の皆さんの立場を尊重し、「その人らしい生活」の再構築を支援するため、質の高いリハビリテーション看護を提供します。

看護科の基本方針

- 1) 利用者の皆さんの自己決定を尊重し、誠意をもった細やかな対応をします。
- 2) 事故防止に努め、安全な看護を提供します
- 3) チーム医療の一翼を担い、専門性の高い科学的根拠に基づいた看護を提供します。
- 4) 急性期および地域医療との連携を強め、満足していただける看護を実践します。

令和6年度 看護科のバランススコアカード

目標: 全人的視点に立った看護実践と、安全で信頼される質の高いリハビリテーション看護の提供に努めます。

	経営シナリオ	各視点の戦略目標 重要成功要因:CSF	重要業績評価指標 (KPI)	KPI オーナー	R5年度 の実績	R6年度 の目標値	アクションプラン	期限・回数	R6年度実績
							実施項目		
顧客の視点	<p>利用者とのパートナーシップの構築</p> <p>地域連携強化</p> <p>安全安心な医療の提供</p>	<p>利用者との信頼関係の構築</p> <p>地域との信頼関係構築</p> <p>学生実習受け入れ(看護学生・中学生)</p> <p>市民病院との連携により信頼関係の構築</p>	<p>患者満足度調査 接遇研修参加率 新規入院患者数 出前講座件数 学生受け入れ人数</p>	<p>看護師長 総看護師長</p>	<p>患者満足度89.6% 接遇研修参加率100% 新規入院患者数494人 学生受け入れ人数延べ719人</p>	<p>患者満足度90.0% 接遇研修参加率100% 新規入院患者数490人 学生受け入れ人数延べ730人</p>	<p>患者満足度調査の実施 接遇研修を看護科全体で実施するとともに各部署でも1回以上研修をする。 新規入院患者数をモニターする。 実習受け入れ基準に沿って学生の実習を受け入れる。実習が困難な場合、学内演習に参加し評価を行う。</p>	2回/年	<p>患者満足度92% 接遇研修参加率100% 新規入院患者数301人 学生受け入れ人数延べ670人</p>
		<p>安心安全な看護の提供</p>	<p>IA報告件数 研修会参加率</p> <p>院内感染発生件数 研修会参加率</p> <p>褥瘡発生率・持ち出し件数・医療関連機器圧迫創傷有病率・スキンテア発生件数</p> <p>急性増悪転院患者数 膀胱留置カテーテル離脱率 気管切開チューブ離脱率</p>	<p>医療安全管理者 感染対策委員 褥瘡対策委員 看護師長 総看護師長</p>	<p>IA報告件数レベル0 641件 レベル3b以上 8件 リスク研修会参加率100% クラスター発生 2件 院内感染発生数1.31% 感染研修参加率100%</p> <p>褥瘡有病率2.9% 持ち出し件数10件 医療関連機器圧迫創傷有病率1.8% スキンテア発生有病率1.6% 急性増悪45件 9.9% 膀胱留置カテーテル離脱率29.2%</p>	<p>IA報告件数レベル0 700件 レベル3b以上 8件 リスク研修会参加率100% クラスターの発生 2件 院内感染発生数1.3% 感染研修参加率100%</p> <p>褥瘡有病率2.9% 持ち出し件数8人 医療関連機器圧迫創傷有病率1.8% スキンテア発生有病率1.5% 急性増悪10% 膀胱留置カテーテル離脱率30%</p>	<p>必須研修(リスク・感染など)の研修会は全員参加を目標にする。 IA情報を職員間で共有するため、IAカンファレンスを実施する。レベル3b以上を発生させないように、各所属のリスク基本的な感染対策を遵守する。PPEを適正に使用する。 アウトブレイクを防止する。 クラスターを発生させないよう、感染対策の徹底。 医療関連機器圧迫創傷(MDRUP)の早期発見早期治療を行う。 急性増悪転院患者数をモニターする。 膀胱留置カテーテル離脱率をモニターする。</p>	2回/年 1回/年	<p>IA報告件数レベル0 641件 レベル3b以上 8件 リスク研修会参加率100% クラスター発生 2件 院内感染発生数1.31% 感染研修参加率100%</p> <p>褥瘡有病率2.9% 持ち出し件数10件 医療関連機器圧迫創傷有病率1.8% スキンテア発生有病率1.6% 急性増悪45件 9.9% 膀胱留置カテーテル離脱率29.2%</p>
財務の視点	<p>医業収益の向上</p>	<p>病床利用率の向上 算定もれの防止</p>	<p>病床利用率 認知症ケア加算1算定件数 リハ総算定料算定率 摂食機能療法件数 摂食嚥下支援加算件数 排尿自立支援加算</p>	<p>看護師長 総看護師長</p>	<p>病床利用率92.1% 認知症ケア加算1算定件数10,576件 リハ総算定料算定率100% 摂食嚥下支援加算件数647件 排尿自立支援加算591件</p>	<p>病床利用率96.2% 認知症ケア加算1算定件数10,000件 リハ総算定料算定率100% 摂食嚥下支援加算件数650件 排尿自立支援加算650件</p>	<p>病床利用率をあげるため退院情報を早めに把握し、常に利用率を意識し、病床利用率の促進を図る。 主治医・医療連携担当者との情報交換を頻回に行う 各チームの加算算定状況を把握する 医事課と情報交換を行い算定漏れを把握する</p>	4回/年	<p>病床利用率92.5% 認知症ケア加算1算定件数10,253件 リハ総算定料算定率100% 摂食嚥下支援加算件数704件 排尿自立支援加算717件</p>
		<p>看護外来の継続</p>	<p>フットケア外来患者数</p>	<p>皮膚排泄 認定看護師</p>	<p>フットケア外来新規患者 2人 フットケア外来 56人</p>	<p>フットケア外来新規患者4名 フットケア外来の拡充 60件</p>	<p>新規フットケア患者を増やすため、糖尿病罹患患者など入院中から情報提供を行う。 HP上で広報を行う。</p>	4回/年	<p>フットケア外来新規患者6名 フットケア外来の拡充 63件</p>
		<p>外来収益の向上</p>	<p>外来患者数 専門外来(高次脳機能評価・自動車運転転評価・摂食嚥下障害評価・難病外来・ボトックス注射等) 患者数</p>	<p>外来看護師長 総看護師長</p>	<p>外来患者延べ8,551人 専門外来(高次脳機能評価・運転転評価・摂食機能障害評価・難病外来・ボトックス注射等) 38件 機能外来222件</p>	<p>外来患者延べ8,600人 専門外来(高次脳機能障害・摂食機能障害評価・神経難病外来・高次脳外来・ボトックス注射等)延べ250件</p>	<p>退院後、外来リハビリに移行できるように、情報提供を行う。専門外来患者数を増やすために、入院時から医師・認定看護師・スタッフと連携し、迅速な外来受診へつなげていく。</p>	1回/月	<p>外来患者延べ8,340人 専門外来(高次脳機能障害・摂食機能障害評価・神経難病外来・高次脳外来・ボトックス注射等)延べ267件 通所リハビリ 445人</p>
		<p>医療保険による退院後訪問指導</p>	<p>退院後訪問指導件数</p>	<p>看護師長</p>	<p>退院後訪問指導件数 26件</p>	<p>退院後訪問指導件数30件</p>	<p>安心して自宅退院できるように調整を行い、在宅スタッフへ引き継ぐ。機能低下を最小限にできるように自宅でできる訓練も取り入れる。退院後訪問指導要件を満たす患者への訪問指導を実施する。</p>	1回/月	<p>退院後訪問指導件数33件</p>
内部(業務)プロセスの視点	<p>チーム医療の推進</p> <p>質の高いリハビリテーション看護の提供 看護科リソースを活用 在宅復帰率の向上</p>	<p>NST介入による低栄養の改善 個別訓練実施による訓練強化 病棟訓練実施による訓練量の確保 背損バスの導入</p>	<p>NST委員 介護士 看護師長 総看護師長 回復期リハ看護師</p>	<p>NSTプレ介入患者4名 摂食嚥下支援加算延べ647件 病棟訓練実施数 延13,659人 背損バス実施患者数15人</p>	<p>NSTプレ介入患者5名 摂食嚥下支援加算延べ650件 病棟訓練実施数 延15,500人 背損バス実施患者数10人</p>	<p>NST介入者を病棟で把握し、多職種協力で支援する。 病棟での強化訓練に参加し、訓練量をあげることで、ADL回復を促進させる。 背損バスの実施に取り組む。</p>	1回/月	<p>NSTプレ介入患者3名 摂食嚥下支援加算延べ704件 病棟訓練実施数 延8,335人 背損バス実施患者数10人</p>	
		<p>在宅復帰のための支援を強化 入院患者のADL向上のためのグループ活動を持続し、FIMの改善とADL自立へのサポートを実践 認定看護師を活用し、看護の質向上を図る</p>	<p>重症率 在宅復帰率 実績指数</p>	<p>認定看護師 リハビリ看護師 看護師長 総看護師長</p>	<p>重症率 48.1 在宅復帰率86.9% 実績指数46.8</p>	<p>重症率44.0 在宅復帰率85.0% 重症患者回復率 50% 実績指数 45%</p>	<p>入院評価会議で、重症率・在宅復帰率・実績指数について考慮しながらヘッドコントロールを行う。家族への介護指導を行い、安全に自宅退院できるように支援する。</p>	2回/年	<p>重症率48.4 在宅復帰率87.1% 重症患者回復率 58.2% 実績指数 51%</p>
学習と成長の視点	<p>看護師長・主任のマネジメント能力の向上</p> <p>看護スタッフの実践能力の向上</p> <p>職員満足度の向上</p>	<p>看護管理に関する勉強会</p>	<p>総看護師長</p>	<p>マネジメントラダー取得者 0 管理者研修 ファーストレベル 2名 セカンドレベル 1名 サードレベル 1名</p>	<p>マネジメントラダー取得 I取得 10%・II取得 10% 管理者研修 ファースト研修 2名 セカンド研修 1名</p>	<p>マネジメントラダー取得率を上げることで、管理者育成につなげ、質の高い医療提供を行う。 認定看護管理者研修の受講を促進する。</p>	4月～3月	<p>マネジメントラダー取得 I取得 13%・II取得 6% 管理者研修 ファースト研修 2名 セカンド研修 1名 認定看護管理者1名新規認定</p>	
		<p>ナーシングスキル研修参加 介護士ラダーの取得 研究発表</p>	<p>教育委員会 看護師長 総看護師長</p>	<p>研修参加件数 27.7回/年/人 キャリアラダー新規取得 I 4人(81%) II 5人(71%) III 8人(43%) IV 1人(36%) マネジメントラダー取得0 介護士ラダー I取得 18人(100%) 研究発表 3件</p>	<p>研修参加件数 25回/年/人 キャリアラダー取得 I 92% II 75% III 40% IV 12% 介護士ラダー取得取得 I 20% II 10% 研究発表 5件</p>	<p>集合研修とナーシングスキルやオンデマンド研修を組み合わせ活用し、研修参加率向上につなげる。 介護士ラダーII取得(100%)を目標に取り組む。 研究発表の機会を提示し、積極的に取り組む。</p>	10月 2月	<p>研修参加件数 19.7回/年/人 キャリアラダー取得 I 85% II 69% III 46% IV 14% 介護士ラダー取得取得 I 94.7% II 84.2% 研究発表 1件</p>	
		<p>職員満足度評価調査 夜勤アンケート調査 年休取得日数 離職率 時間外の削減 メンタルヘルスチェック回数</p>	<p>心理療法師 看護師長 総看護師長</p>	<p>職員満足度評価調査 ポジティブ系平均3.9 ストレス系平均2.97 年休取得日数 平均11.20日/年 離職率 4.49% 時間外 2,961時間/年 メンタルヘルスチェック回数 2回</p>	<p>職員満足度評価調査 ポジティブ系平均4.0 ストレス系平均2.8 夜勤アンケート調査 実施 年休取得日数 平均10日/年 離職率 8% 時間外 2,900時間/年 メンタルヘルスチェック回数 1回 (R6から機構本部で統一したシステム導入→年1回実施)</p>	<p>職員満足度評価調査(チャレンジ)のストレス関連項目が改善できるように、勤務状況の把握と年休取得向上に向け、取り組む。時間外管理を行い、職場全体で削減に削減に向け、取り組む。 メンタルヘルスケアを活用し、必要時、産業医、保健師、臨床心理士へのフォローを依頼する。</p>	10月	<p>職員満足度評価調査 ポジティブ系平均3.52 ストレス系平均2.94 夜勤アンケート調査 実施 2交代制働きやすい・どちらかという働きやすい 61% 年休取得日数 平均11.51日/年 離職者6名 離職率8.69% 時間外 2,820時間/年 ストレスチェック1回/年 実施率 95.4% 高ストレス率13.5%</p>	

4. 看護科教育

1) 看護師・介護士教育

2024年度 看護科研修一覧 研修年間計画

集合研修 看護科職員全レベル対象

研修名	目的	研修方法	講師	実施日
看護師の特定行為研修制度について 回復期での血糖コントロールについて考えよう	看護師の特定行為研修制度について理解する 血糖コントロールに関する知識を身につける	講義	山根看護師長	4/17
BLS	救急蘇生の目的、一次救命の処置方法を理解し、緊急対応に活かすことができる	講義 演習	小倉主任看護師 竹川看護師	5/15
皮膚・排泄ケア	必須研修 排泄ケアについて理解を深め、実践できる	講義	倉本主任看護師	6/19
摂食嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護について理解を深め、実践に活かす事ができる	講義	川端看護師長	7/17
認知症看護 必須研修	認知症看護を続けるためのメンタルヘルスの保ち方	講義 (WEB)	伊東主任看護師	9/18
高次脳機能障害患者の看護	高次脳機能障害機能障害患者の看護	講義	山根看護師長	10/16
回復期リハビリテーション看護/ICFの考え方	回復期リハビリテーション看護 ICFについて	講義 (WEB)	日高主任看護師	11/20
接遇、患者/職員満足度を高めるには	社会人、専門職として必要な接遇ができる 患者/職員満足度を高めるために何が出来るか考え実行できる	講義 GW	看護の質向上委員	12/18
看護情報	患者が見える看護記録をする事ができる	講義	看護情報委員	1/15
多職種・地域連携、継続看護	事例発表	発表	1F: 2F:	2/19
ポータルフォーリオ発表会	1年間の看護活動、目標管理を共有する	発表	看護: 介護:	3/19

部署別研修

研修名	目的	研修方法	講師	実施日
部署別感染対策	感染対策について学び実践に活用する事ができる	講義 演習	感染対策委員会	7月2月
部署別医療安全	医療安全について学び実践に活用する事ができる	講義 (WEB)	リスクマネジメント委員会	9月2月
部署別認知症ケア	認知症ケア 認知症の方が望まれていること 講師: 吉村朋範先生	講義	教育研修委員会	8月
FIM研修	FIMについて理解し、適切な評価をすることができる	講義 (WEB)	FIM ワーキング	9月
職員接遇研修	医療者に求められる基礎的マナーと危機的状況における接遇について	講義 (WEB)	ナーシングスキル	10月
職員倫理研修	市立病院機構職員としての自覚をもって	講義 (WEB)	堂本事務長	12月

卒後・入職後2年目看護職員研修 (ラダーⅡ対象必須研修)

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
看護過程・看護診断・ケーススタディ	フィジカルアセスメント	講義 演習	情報委員	5/24
【ナーシングスキル】専門領域スキルアップ フィジカルアセスメント	看護師向け身体診察 初級編 中級編 (事前学習) 急変対応 事例検討: アナフィラキシーショック ・ICF	動画講義 GW	教育委員会	7/19

社会人基礎力	社会人基礎力を強化するための演習 必須文献：社会人基礎力を鍛える 新人研修ワークブック	講義 演習	総看護師長 教育委員	10/18
リーダー業務 オリエンテーション	ケーススタディ	講義 演習	教育委員会	12/20
【日看協オンデマンド研修】 リーダーIIレベル到達の為の研修	JNAリーダーII到達の為の研修 「地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度」 「ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスとその理解」 ・リフレクション研修	動画講義・GW 演習	教育委員会	2/7

キャリアリーダーIII対象年間教育プログラム (看護師経験3年程度～)

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
【日看協オンデマンド研修】 JNAリーダーIII到達のための研修 災害看護シュミレーションシュミレーション リハビリテーション看護実践場面における倫理的行動について	「迅速なフィジカルアセスメントで行う急変予測と対応」 「生理的变化と症状」 「予測することのできること」 「迅速評価と対応」「一時評価と対応」	動画講義 GW	教育委員会	8/16
回復期リハビリテーション看護 【日看協オンデマンド研修】 JNAリーダーIII到達のための研修	レポート提出 回復期リハビリテーション看護 「協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス」 「自施設周辺の地域包括ケアシステムの理解」	講義 動画講義	回復期リハビリテーション 看護認定看護師 教育委員会	11/8
【院外】 広島市立病院機構主催 リーダーII取得者研修	「キャリアデザインとキャリア開発」 職場の変化に対応できる知識とスキルを学び、主体的に行動できる人材を育成する	講義 GW 研修後課題	広島市立病院機構 看護教育担当者	12/6 12/13
【院外】 広島県看護協会 集合研修 実地指導者研修	実地指導者が新人看護職員の職場への適応状況を把握し、基本的な看護技術の指導および精神的支援を行うために必要な能力を修得する 実地指導者が、所属部署の新人看護職員研修計画に沿って教育担当者、部署管理者とともに部署における新人看護職員の個別の研修プログラムを立案、実施、評価するために必要な能力を修得する	講義 演習 GW	広島県看護協会講師	9月 ～11月
【院内】【GW】 グリーンケア 災害時の医療と看護 身体抑制について考える	【動画講義】家族に寄り添うグリーンケア 【動画講義】災害時の医療と看護 災害時の医療と看護 【GW】当院における災害時の実際について 【動画講義】身体抑制について考える 【GW】リハビリテーション看護実践場面における倫理的行動について	動画講義 GW	伊東主任看護師 濱中主任看護師 教育委員担当者	1/24
リフレクション研修"	「当院におけるリーダーIIIレベルの看護実践能力を持つ看護師の役割」	演習 GW	教育委員会 主任看護師"	3/7

キャリア開発ラダーⅣ対象年間教育プログラム（看護師経験5年以上）

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
【院外】 ・広島県看護協会 ナーシングスキル ラダーⅢ～Ⅳ対象研修	以下の研修または同等の研修を修了する ・看護研究における倫理と研究の進め方 ・看護研究入門Ⅰ・Ⅱ ・災害支援ナース育成研修 ・地域包括ケアと看護職の役割 ・広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・教育担当者研修 ・医療安全管理者養成研修（オンデマンド研修、看護協会集合研修） ・感染管理（実践編） * 感染管理（基礎編）の受講修了者に限る ・看護におけるリフレクション ・ファシリテーションスキル ・看護職員認知症対応力向上研修 * 「認知症ケア加算」に対応した研修 ・ACP（アドバンスケアプランニング）	講義 動画講義 ラダーⅣ認定審査 申請をするまでに 50%の研修を受講 すること	教育委員会	個人調整
【日看協オンデマンド研修】 JNAラダーⅣ到達のための研修	「ケアの受け手の自己決定を支える他職種の協働・連携」視聴期間4/15～2/20 「キャリア開発と教育への取り組み～すべての看護職員のために～」 【演習】プレゼン テーマ「自分の描くキャリアデザイン」 【演習】ディスカッション：人材育成について 業務改善について	動画 講義	教育委員会	10/25
キャリア開発ラダー審査申請	「レポート作成」	演習	教育委員会	個人調整
【ナーシングスキル】	「災害時の医療と看護」	動画 講義	教育委員会	個人調整
看護研究	看護現場における研究課題を抽出し、主研究者とともに看護研究を実施 * 共同研究者としての研究実施		教育委員会	個人調整

キャリア開発ラダーⅤ対象年間教育プログラム（看護師経験8年以上）

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
【院外】 広島県看護協会 ラダーⅣ～Ⅴ対象研修	以下の研修または同等の研修を修了する ・看護研究における倫理と研究の進め方 ・看護研究入門Ⅰ・Ⅱ ・災害支援ナース育成研修 ・地域包括ケアと看護職の役割 ・広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・教育担当者研修 ・研修責任者研修 ・医療安全管理者養成研修 ・感染管理【実践編】 * 感染管理【基礎編】の受講修了者に限る ・看護におけるリフレクション ・ファシリテーションスキル ・看護職員認知症対応力向上研修 * 「認知症ケア加算」に対応した研修 ・ACP（アドバンスケアプランニング）	講義 動画講義 ラダーⅤ認定審査 申請をするまでに 80%の研修を受講 すること	広島県看護協会講師	個人調整
【ナーシングスキル】 ACP 自分らしくキャリアをデザインしよう 災害時の医療と看護	【動画講義】アドバンス・ケア・プランニングとは？～人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインを踏まえて～ 【動画講義】自分らしくキャリアをデザインしよう 【動画講義】災害時の医療と看護（管理者編） 【演習】プレゼン・ディスカッション ・困難事例への対応 ・私の看護観	動画 講義 演習	教育委員会	12/6

【院外】 キャリアラダーV認定審査申請をするまでに	<ul style="list-style-type: none"> ・看護研究における倫理と研究の進め方 ・看護研究入門Ⅰ・Ⅱ ・災害支援ナース育成研修 ・地域包括ケアと看護職の役割 ・広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・教育担当者研修 ・研修責任者研修 ・医療安全管理者養成者研修 ・感染管理（実践編） ・感染管理（基礎編） ・看護におけるリフレクション ・ファシリテーションスキル ・看護職員認知症対応力向上研修 ・ACP（アドバンスケアプランニング） 受講数について 6項目 4つの実践力+組織的役割遂行能力 自己教育・研究能力	講義 演習	院外講師	申請時
研究	臨床現場における研究課題を抽出し、主研究者として看護研究を実施する *主研究者としての研究実施、発表		教育委員会	申請時

集合研修 介護職員全員対象

研修名	目的	内 kazoku容	研修方法	講師担当者	実施日
記録の書き方	経時、SOAPで記録が書く事や注意点を学ぶ事ができる。当院の介護福祉士が行っているカルテ入力について理解する事ができる。	記録の書き方	講義 演習	青掛介護士 青木介護士	4/25
急変時の対応	急変時の対応について理解し介護士としての動きを学ぶ事ができる	急変時における対応の仕方	講義 演習	尾崎介護士	5/23
多職種連携	チーム医療が求められる背景を学び、介護士として専門的役割を実践できるためのスキルと技術を習得する。	チーム医療における多職種連携のあり方について	ナーシングスキル	大野介護士 青掛介護士	6/1～ 23
回復期における介護福祉士の役割 ～排泄介助～	おむつ離脱のために看護師と協働する力を学ぶ事ができる。	排泄介助時の観察ポイントの理解。	講義 演習	守安介護士 (大下介護士)	7/25
急変時の対応	急変時の対応について理解し介護士としての動きを学ぶ事ができる	急変時における対応の仕方	講義 演習	中山介護士	8/22
リスク管理	介護福祉士が関わるケアに潜むリスクを知る事ができる。技術や知識不足によるアクシデント防止について学ぶ事ができる。	連携、記録、報告、共有の必要性や対応方法	講義 演習	河崎介護士	9/26
身体拘束を回避するために	身体拘束に係る現状から問題点や弊害について学び、身体的拘束を回避するための方策について学ぶ事ができる	身体拘束を回避するための方策について	ナーシングスキル	大野介護士 青掛介護士	10/1～ 23
日常生活援助について	日常生活の様々な場面での介入方法、自立に向けての関わり方について理解する事ができる。	日常生活の介入方法	講義 演習	宗近介護士	11/28
ポジショニング	ポジショニングの必要性を学ぶ事ができる。安楽な体位や正しい褥瘡予防のポジショニングを行う事ができる。麻痺側管理ができる。	ポジショニングの技術	講義 演習	宗近介護士	12/26
モチベーションの基本と行動	モチベーションが低下する原因について理解し、ストレスの対処方法とモチベーションを維持する方法の習得について	モチベーションとストレス対処方法について	ナーシングスキル	大野介護士 青掛介護士	1/1～ 26
介護福祉士として気を付ける感染対策	患者が安全快適に過ごせる環境を提供するため、介護福祉士としての感染対策について	ケア場面での気を付ける感染対策	講義 演習	感染リンク介護士	2/27

家族へのケアと介護指導	在宅へ移行後も、健康の維持・増進を図ることを目的とした効果的な介護指導についてとサポートする家族のケアについて	退院指導と家族へのケア 介護指導	発表 演習	大下介護士	3/28
感染	感染の知識・技術を身につける事ができる	感染について	講義	感染委員 院内必須研修参加	随時
リスクマネジメント	リスクの知識・技術を身につける事ができる 抑制について学ぶ事ができる	リスクマネジメントについて	講義	リスク委員 院内必須研修参加	随時

卒後1年目介護職員研修

研修名	目的	内容	研修方法	講師	実施日
採用時研修	病院の組織を知り、社会人の一員として職務を責任持って遂行できる 介護専門職としての役割を身につける	広島市立リハビリテーション病院 介護職員としての心構え/ 接遇/倫理/記録/電子カルテ/ リハ看護/介護技術/医療安全/ 感染管理	体験学習 実習 講義	別紙	随時
2024年度新人教育研修年間プログラム	新規採用介護職員の知識、技術の向上	教育研修年間プログラムパスに沿って随時研修実施	参加型	看護科職員	随時

2) 新人教育

2024年度 広島市立リハビリテーション病院 看護科新人教育プログラム

開催日	時間	研修テーマ	研修内容	研修目標	講師	対象者	ラダー
4/1 (月)	8:30～ 17:15	辞令交付 書類作成 オリエンテーション 組織とシステムの説明	別紙参照、各部署の挨拶と説明	当院における組織と各システムの概要が理解できる	院長 総看護師長	全部門	組織
4/2 (火)	8:30～ 9:30	看護科職員としての役割 (理念・基本方針・看護科目標)	病院理念のもと、看護科の目指すものを示す 看護協会入会ほか各種手続き 図書館の利用について	当院看護科における看護目標・方針を理解し、自らの看護活動に活かすことができる 看護協会入会・出勤簿・年休簿・勤務表 タクシーチケット・図書館の利用について 理解することができる	総看護師長	看護科	ニーズ
	9:30～ 10:30	看護科教育について	看護科の教育体制について ・教育計画・ナーシングスキル ・ポートフォリオ・キャリアラダー	看護科における教育体制やその支援について理解することができる	川端師長	看護科	ニーズ 教育
	10:30～ 12:00	病棟オリエンテーション プリセプター紹介	病棟説明 各部署説明 挨拶	病棟や各部署の機能・構造について理解できる プリセプターとの良好な関係を築くことができる	プリセプター	看護科	組織
	13:00～ 14:15	回復期リハビリテーション看護/FIM:☆	回復期リハビリテーション看護について FIM について	回復期リハビリテーション看護に必要な知識・技術について学びを深める FIM について学びを深める	日高主任 梶本看護師	看護科	ニーズ
	14:15～ 15:15	ICF の考え方:☆	ICF の考え方	リハビリテーション看護に必要なICFの考え方について理解する	日高主任	看護科	ニーズ
	15:15～ 16:15	感染対策	感染対策に関する基本的な考え方、臨床での感染防止対策の実際について	感染対策についての基本的知識、臨床での感染防止対策の実際について理解する	白井師長	全部門	ケア
	16:15～ 17:15	感染対策実技	実技	感染対策の基礎から実際までを学び、院内感染防止の具体策が理解できる。	白井師長 梶原主任	全部門	ケア
4/3 (水)	8:30～ 10:00	臨床モデルを用いた新人看護師研修「看護の気づき」1回目	臨床判断の基礎能力を養う（演習）	看護実践が臨床判断に基づき実施されていることを理解し、次の看護実践につながる有効な気づきをする。	川端師長 濱中主任	看護科	ニーズ ケア

	10:00～ 11:00	看護・介護倫理	看護／介護実践の中での倫理的課題について	日々の看護実践の中での倫理的課題について意識付け できる	濱中主任	看護科	意思
	11:00～ 12:00	退院支援、訪問看護	退院調整・在宅支援について	退院支援、退院後訪問指導の実際を知る。	杉原主任	看護科	ケア
	13:00～ 15:30	看護記録・介護記録電子カルテへの入力	看護記録の目的・機能・構成要素について 看護診断、看護計画、評価 (NOC・NIC) ペーパーペイシエントによる事例の介護過程の展開	看護記録の目的を理解し、記録することができる。 看護計画を正確に立案し、評価していく概念がわかる 記録をカルテ入力できる。	永松看護師	看護科	ケア
	15:30～ 16:00	職員の健康管理とメンタルサポートについて	当院における職員の健康管理とメンタルサポートについて	当院の健康管理やメンタルサポートについて理解する	比良幅 保健師	全部門	組織
	16:00～ 16:35	放射線の取り扱い	放射線被曝・MRIの安全対策について	放射線被曝・MRIの安全対策を知る	診療 放射線技師	全部門	協働
	16:35～ 16:55	当院で行う検査について	採血やエコー検査などの検査上の注意事項について	当院の主な検査や検査時の注意事項について	臨床検査 技師	全部門	協働
	16:55～ 17:15	薬剤の取り扱い	薬剤科紹介と薬剤管理について	薬剤の安全な取り扱いを知る	薬剤師	全部門	協働
4/4 (木)	8:30～ 10:00	医療安全	医療安全に関する基本的な考え方、インシデント・アクシデントの報告 セーフマスタースインシデントシステム入力方法の説明:☆	医療安全に関する基礎を学び、事故のない看護活動ができる インシデントシステムの入力方法および操作方法について理解する	杉岡師長	全部門	ケア
	10:00～ 11:00	看護必要度/日常生活機能評価	看護必要度/日常生活機能評価について	看護必要度/日常生活機能評価について理解し、評価できる	森本主任	看護科	ケア
	11:00～ 12:10	情報管理	個人情報保護・情報の取り扱いについて (動画講義) 1. 本人・家族との情報のやり取り 2. 医療従事者間の情報のやり取り 3. 情報倫理	個人情報保護法について、個人情報とは何か、医療従事者が日々取り扱う情報とはどのようなものかを理解する	教育委員	全部門	ニーズ
	13:10～ 13:45	医薬品安全使用のための業務手順書について☆	医薬品安全使用のための業務手順書について (必須研修)	医薬品安全使用のための業務手順書について	薬剤師	看護科	ケア

	13:45～ 15:45	脳卒中リハビリテーション看護:☆	リハビリテーション看護の現状・障害、専門的役割について	リハビリテーション看護の実践者として、基礎・基本となる知識を習得する	山根師長	看護科	ケア
	15:45～ 17:15	リハ栄養/NST 摂食嚥下障害看護:☆	リハ栄養・NSTについて 摂食嚥下のメカニズムと看護の実際について	リハ栄養・NSTが理解できる 摂食嚥下障害患者ケアの知識と技術を理解し実践する	川端師長	看護科	ケア
4/5 (金)	8:30～ 9:30	職員倫理	職員倫理について(動画講義) ・病院で働く職員に向けた臨床倫理 1. 臨床倫理総論 2. 職員倫理	臨床倫理の基本的な職員倫理について理解できる	看護科教育 委員 事務室	全部門	意思
	9:30～ 10:45	排泄ケア:☆	排泄障害の病態生理 排泄障害患者の ケアの概念	排泄障害患者のケアの知識と技術を理解し、実践する	倉本主任	看護科	ケア
	10:45～ 12:00	褥瘡ケア	褥瘡発生のメカニズムと予防・ケアの技 術について	褥瘡の発生から治療までの過程が理解でき、治療法・ 患者教育に関する知識を学び実践する	倉本主任	看護科	ケア
	13:00～ 15:00	急変時の対応	患者の急変時の対応について	患者の急変時のアセスメントと救急看護を実施する	小倉主任 向井主任	全部門	ニーズ
	15:00～ 17:15	認知症ケア:☆	認知症の病態生理 認知症患者のケア	認知症患者のケアに関する知識と技術を理解する	伊東主任	看護科	ケア
4/8 (月)	8:30～ 17:15	機構全体研修	広島市立病院機構の理念等 (広島市民病院 10階講堂)	当機構の職員としての役割や責任、職員へのサポート 体制について理解出来る	事務室	全部門	組織
4/9 (火)	8:30～ 17:15	基礎看護技術 ME 機器について	基礎看護技術について ME 機器の取り扱いについて (研修室)	看護に必要な知識、技術、態度を見につけ、看護業務 手順に沿い、指導を受けながら安全かつ確実に看護技 術を実施することができる *フィジカルアセスメントおよび演習含む 病棟で利用する ME 機器について知ることができる	プリセプタ ー 教育委員	看護師	ケア

☆：看護師転勤者・中途採用者参加項目（希望者のみ）

ラダー：ニーズ→ニーズをとらえる力、ケア→ケアする力、協働→協働する力、意思→意思決定を支える力、組織→組織的役割遂行能力、教育→自己教育・研究能力

3) 資格（看護協会、学会認定等）

資格	人数	備考
認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了	20	広島県看護協会
同セカンドレベル修了	9	広島県看護協会
同サードレベル修了	2	広島県看護協会
認定看護師	5	日本看護協会
認定看護管理者	2	日本看護協会
特定行為研修共通科目修了	1	広島大学病院
回復期リハビリテーション看護師	3	回復期リハ病棟協会
医療安全管理者養成研修修了者	14	広島県看護協会
感染管理研修修了者	10	広島県看護協会
認知症ケア研修	8	広島県看護協会
診療情報管理士	1	四病院団体協議会
医療フットケアスペシャリスト	1	学会認定
災害支援ナース	3	広島県看護協会
実習指導者養成講習会修了者	8	広島県看護協会
社会福祉士	8	広島県
精神保健福祉士	1	広島県
介護支援専門員	8	広島県
介護福祉士	20	広島県
介護福祉士実習指導者講習会修了	7	広島介護福祉士会
介護福祉士ファーストステップ研修修了	5	広島介護福祉士会
看護教員資格者	1	広島県
大学院修士課程修了	3	大学院
経肛門的洗腸療法講習修了	3	学会認定
排尿自立支援研修修了	3	大阪府看護協会
特定高圧ガス取扱責任者 液体窒素	1	高圧ガス保安協会
福祉住環境コーディネーター2.3級	2	東京商工会議所

4) 院内資格

ラダー取得者

キャリアラダー	人数	%
レベルⅠ 取得者	60人	85%
レベルⅡ 取得者	50人	69%
レベルⅢ 取得者	33人	46%
レベルⅣ 取得者	10人	14%

マネジメントラダー	人数	%
レベルⅠ 取得者	9人	13%
レベルⅡ 取得者	4人	6%
レベルⅢ 取得者	0人	0%
レベルⅣ 取得者	0人	0%

院内認定看護師

摂食嚥下障害看護	3人
脳卒中リハビリテーション看護	3人
皮膚排泄	3人
認知症看護	1人

5. 看護活動

1) 認定看護師活動

2024年度 認定看護師活動					
分野	名前・取得年・職位	実践		指導	相談
摂食嚥下障害看護	川端 直子 2010(平成22)年 看護師長	実践 704 件 加算対象者 163 名	院内	4月 新人職員研修講師 6月 介護士リーダー研修講師 7月 看護科研修講師	実践 723 件 教育 74 件 相談 75 件 摂食嚥下カンファレンス 1回/週開催 摂食嚥下ケアミーティング 1回/月開催
			院外	NPO 法人日本リハビリテーション看護学会 理事 POTTプロジェクト副代表 5月 フラワーフェスティバル 1日まちの保健室 相談対応 3回/年 POTT 全国理事会 7月 POTT 全国大会 司会進行 3回/年 POTT 広島理事会 全国大会 6~12月(12回) JSNAS 食事ケア班活動会議 6月 市立看護専門学校講師 11月 日本看護技術学会 キャラバン研修 ファシリテーター 12月 市民公開講座 講師 2月 図解 誤嚥を防ぐポイントと食事ケア 第2版発行 執筆	
脳卒中看護	山根 ゆかり 2012(平成24年) 2021(令和3年) 特定行為研修終了 看護師長	実践 62 件 摂食嚥下機能回復 体制加算 排尿自立支援加算の 対象者を含む	院内	教育・指導 38 件 4月 新人職員研修 講師 4月・10月・11月 看護科研修講師	相談 32 件 摂食嚥下カンファレンス 1回/週 開催 排尿ケアカンファレンス 1回/週 開催
			院外	7月 市政出前講座 講師 7月 日本脳神経看護学会 講師 8月 広島県自立支援型ケアマネジメント力向上力研修 講師 8~10月 安佐准看護学院 講師 3月 第36回脳神経看護教育セミナー ファシリテーター	
皮膚・排泄ケア	倉本 美和 2014(平成26年) 主任看護師	実践 859 件 フットケア外来 61 件 排尿自立支援加算 (週1回200点)	院内	教育・指導 97 件 4月 新人職員研修 講師 6月 看護科研修 講師 8月・1月 介護士リーダー研修 講師 3月 院内教育研修 講師	相談 95 件 排尿自立支援加算 ケアカンファレンス 1回/週 開催 フットケア外来

		延べ 717 件	院外	6 月 JTFA 主催 研究会 講師	1 回/月 担当
認知症看護	伊東 有美子 2016(平成 28 年) 主任看護師	実践 708 件 認知症ケア加算 1 加算延べ 10,253 件	院内	4 月 新人職員研修 講師 9 月 院内職員必須研修 講師	指導 114 件 相談 149 件 認知症ケアカンファレンス 1 回/週開催
			院外	5 月～6 月 広島市立看護専門学校 第一看護 学科 講師 7 月 (福山会場) 9 月 (広島会場) 看護職員対象認知対応能力向上研 修 講師・ファシリテーター 9 月 3 月広島県看護協会 認知症 対応能力向上研修 新カリプログ ラム検討委員 11 月たかの橋中央病院 認知症 職員研修講師 10～11 月 広島市立看護専門学校 第二看護学科 講師 2 月 舟入市民病院職員研修講師	
感染管理	白井 亜紀 2022 年 (令和 4 年) 看護師長	実践 112 件 感染対策向上加算 3 サーベイランス ICT ラウンド 2023 年度より J-SIPHE 参加	院内	4 月 新人職員研修 講師 7 月 院内職員必須研修 講師 2 月 院内職員必須研修 手指衛生ラウンド	教育 5 件 相談 41 件
			院外	6 月 広島市民病院 感染管理 認定看護師ラウンド 合同カンファレンス 4 回/年 6 月・7 月 施設訪問支援 (慈光園) 7 月 大塚中学校職場体験 講師	

回復期リハビリテーション病棟協会認定

回復期リハビリテーション認定看護	日高 タ子 2013 (平成 25 年) 主任看護師	脊損バス 10 件	院内	4 月 新人研修 講師 7 月 ラダ-Ⅱ対象者研修 講師 9 月 FIM 研修 11 月 ラダ-Ⅲ対象者研修 講師 11 月 看護科研修 講師	多職種との協働 FIM ワーキング主催
			院外	9 月 安佐准看護学院 講師	

梶本 沙希子 2023 (令和5年) 看護師	脊損バス 10件	院内	9月 FIM 研修 11月 看護科研修 講師	多職種との協働 FIM ワーキング主催
------------------------------	----------	----	---------------------------	------------------------

2) 学会

学会発表

月	氏名	タイトル	主催
R7.2.21	梶本沙希子	視床出血後重度障害患者に多職種 の評価を統合して取り組んだ事で 更衣動作が向上した一例	第45回 回復期リハビリテーション病 棟協会 研究大会

3) 執筆

月	著者	題名	発行所
R7.2月	川端直子	図解 誤嚥を防ぐポジショニング と食事ケア (第2版) 第4章 食事摂取のポイント ・自力摂取をめざした安全な食事 援助 ・患者と家族への指導	三輪書店

4) 社会貢献

	社会的活動	名前	役割	主催
1	日本リハビリテーション看護学会	奥田加世	理事	NPO 法人日本リハビリテーシ ョン看護学会
2	看護研究倫理審査委員	奥田加世	委員	広島県看護協会
3	広島地方部会	山根ゆかり	役員	日本脳神経看護学会
4	はつかいち暮らしと看取りの サポーター研修会	川端直子	運営委員	はつかいち暮らしと看取りの サポーター
5	研修計画などプロジェクト運営	川端直子	副代表	POTT プロジェクト
6	看護職員認知症対応向上研修 プログラム検討会	伊東有美子	委員	広島県看護協会
7	広島県介護福祉士会	白翰加恵	理事	広島県介護福祉士会

5) 講師

	研修名	名前	年月日	主催
1	排泄ケア「他施設・事業者の取り組みから私たちにできること」 ファシリテーター	白鞘加恵	R6.5.21	広島県介護福祉士会
2	車椅子の体験授業 広島市立東野小学校4年生 125名	白鞘加恵	R6.6.14	広島県介護福祉士会
3	第21回多業種フットケア研究会 講師	倉本美和	R6.6.23	日本トータルフット マネジメント協会
4	地域包括ケア論 講師	奥田加世	R6.6.27	広島都市学園大学
5	基礎看護技術 (日常生活援助IV) 講師	向井康人	R6.7月～12月	安佐准看護学院
6	市政出前講座 「脳卒中のリハビリテーション」	山根ゆかり	R6.7.3	広島市
7	チャレンジ活用について 「チャレンジキックオフ」講師	奥田加世	R6.7.4	広島県看護協会
8	脳卒中看護学会 中国地方部会 講師	山根ゆかり	R6.7.7	日本脳神経看護学会
9	広島県看護協会「看護職員認知症 対応能力向上研修」福山会場 講師、ファシリテーター	伊東有美子	R6.7/11～13	広島県看護協会
10	感染症対応力向上のための施設訪問 (慈光園)	白井亜紀	R6.7.14	広島県看護協会
11	臨床看護概論Ⅱ (リハビリテーション看護) 講師	日高夕子	R6.9.4	安佐准看護学院
12	広島県看護協会「看護職員認知症 対応能力向上研修」広島会場 講師、ファシリテーター	伊東有美子	R6.9/14～16	広島県看護協会
13	成人看護Ⅲ 脳・神経看護 講師	山根ゆかり	R6.9月～10月	安佐准看護学院
14	認定看護管理者セカンドレベル 総合演習Ⅱ (実習) 助言者	杉岡真知子	R6.10/22・11/21	広島県看護協会
15	市政出前講座 講師	梶原正子	R6.11.6	広島市
16	日本看護技術学会 キャラバン研 修 ファシリテーター	川端直子	R6.11.25	日本看護技術学会
17	市民公開講座「口から安全に食べ 続けるためのポイント」講師	川端直子	R6.12.8	広島市立リハビリテーション病 院
18	介護授業 講師 広島市立沼田高等学校	白鞘加恵	R7.1.8	広島県介護福祉士会
19	認知症研修 講師	伊東有美子	R7.1.27	たかの橋中央病院
20	認知症ケア研修 講師	伊東有美子	R7.2.14	舟入市民病院

6. 臨地実習受け入れ校 (延べ人数)

令和6年臨地実習受入学校一覧		
学校名	分野	人数
広島市立看護専門学校	基礎看護学実習 I	39 人
	統合看護実習	164 人
安田女子大学看護学部	看護の統合と実践	48 人
	高齢者看護学	343 人
安佐准看護学院	2 年生 見学実習	42 人
広島大学	医療科 薬学科	34 人
合計 (延べ人数)		670 人